

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 2型糖尿病におけるアログリプチン/メトホルミン配合錠(イニシンク配合錠)の有効性と安全性に関する検討』

【研究の背景および目的】

2型糖尿病の治療において、多くの種類の経口血糖降下薬(以下、経口薬)が登場し、経口薬の数とその服薬アドヒアランスは逆相関していくことが報告されております。経口薬の配合剤は服薬アドヒアランスの向上、血糖コントロール改善に寄与する可能性が示唆されており、東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センターでは、アログリプチン/メトホルミン配合錠(イニシンク配合錠)の有効性を検討するために本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、個々の患者さんにおけるより正確な糖代謝異常の病態把握ならびに適切な治療法選択につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年12月1日から2018年12月31日年までに東邦大学医療センター大森病院糖尿病・代謝・内分泌科においてアログリプチン/メトホルミン配合錠(イニシンク配合錠)を開始いただいた症例を対象対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した検査結果を解析することにより、アログリプチン/メトホルミン配合錠(イニシンク配合錠)の使用開始前と使用開始後の血糖コントロールの状況を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究において複数の関係者が一部企業との間には利益相反状態がありますが、規範に従って適切に対処されています。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
糖尿病・代謝・内分泌科
職位・氏名 レジデント 小柴博路
 助教 嶋山文華
電話 03-3762-4151 内線 6565